

幸せの源泉は自己決定

令和5年10月6日(金)、地区PTA主催のイベントで、NPO法人ファザーリング・ジャパン理事・川島高之さんの「我が子の力を信じよう～幸せの源泉は自己決定～」と題した講演を聞きました。保護者向けの講演ですので、ここではその内容を「自分の力を信じよう」に置き換えて、「幸せの源泉は自己決定」という内容にしたいと思います。

能力伸長・生田メソッドの目的は、【「不確実で複雑な時代」を生き抜く「主体的な意志のある自立した『個』」の育成】にあります。川島さんは、《自立するために重要なことは、「自分のチカラで進もうとする意志」と、自分は価値ある存在なんだ」という自己肯定感》と言います。私の「意志」は「意思」ではなく、明確な意図を持って「意志」なわけですが、川島さんも、やはり「意思」ではなく「意志」なわけですね。

チカラの源泉は、Will (好きな事、ワクワク、やりたい、熱中)、Can (得意な事、好成績、褒められたい、長所) Help (人の役に立ちたい、役割、貢献したい、承認されたい) の三つだと。【不確実で複雑な時代にあって、安定していて景気の良い職業などない。ならば、どうする。「好きな道」に進むしかない。「確かな道」はない。進んだ道で「確かな人」になればいい。】と私は言うわけですが、私の「好き【Will】」には、CanもHelpも含まれます。《【Will】= Will+Can+Help》です。Will (好きな事) に熱中することで、持続力が身に付きます。Can (得意) に新たな課題が見つかり、それを克服すればさらに得意になり、向上心が身に付きます。Help (役に立つ事) の経験をすることで、感謝され、人の役に立とうという意識が強まり、これから何をなすべきか考えるようになります。

【じっとしていても何も変わらない。考えたら行動しよう。行動したら考えよう。手と足を使って考えよう。とにかく何かを始めよう。】じっとしたままいくら考え続けても、【Will】の答えは出ません。Will、Can、Helpを行動に移し、試行錯誤することで、時間をかけて【Will】にぶち当たってください。皆さんが、【Will】を探り当てるのは高校卒業後かもしれません。それは自然なことです。今は、当面のWillをエネルギーにして、三兎、四兎を追ってください。あれかこれかではなく、あれもこれも、自らを大きく作り上げてください。(Will、Can、Helpは皆さんを突き動かす内発的エネルギーです。誰かにやらされるのは外発的、エネルギーにはなりません。)

川島さんの話に戻ります。川島さんは「WillとCanの掛け算」で将来の仕事を考えることを推奨しています。たとえば野球。Willも野球、Canも野球ならばプロ野球選手ということになりますが、そのレベルで野球をCanと言える方はそうそういるものではありません。

以前、「gift=神様からの贈り物=才能」をテーマにした講演で、「ギフト（才能）は傷ついている」という話を聞いたことがあります。講師は男性、アシスタントは女性で元歌手。講師は、彼女を引き合いに出して、「彼女は歌がすごく上手です。素晴らしい歌声です。さすが元歌手です。でも、彼女は歌が嫌いです。彼女は歌手として大成できず、その道を諦めた。彼女の歌の才能（gift）は傷ついているんです。」

野球をCanと言える人はそうそういないということです。しかし、好きな野球を好きなままでいて、なおかつ野球を仕事にしようというのが川島さんの「WillとCanの掛け算」なのかなあとと思います。野球がWillでCanは何？そのCan次第で野球場運営会社もあれば野球用具メーカーもあります。それぞれ違う業種であり、さらにその組織内には様々な職種、部署があります。Canとの掛け算で見つけ出した業種・職種・部署でWillを貫くということです。野菜好きならば、それぞれのCanに応じて農家、スマート農業、農業体験イベント企画、新種の研究開発とあります。散歩好きのまちづくりデザイナー、地方好きの地方創生の企画者、アロマ好きが高じて製薬会社で創薬、こんな感じでWillを実現します。

【じっとしていても何も変わらない。考えたら行動しよう。行動したら考えよう。手と足を使って考えよう。とにかく何かを始めよう。】野球好きの野球部員でレギュラーになれなかった方が、記録・分析のCanを生かしてスコアラーになった。スコアラーを続けているうちに、いつの間にか、記録・分析が【Will】となって、会計士となり、会社経営の記録・分析・助言をするようになったという方もいます。野球というWillのおかげで、記録・分析という【Will】に気づくことができたということです。

【Will(Will, Can, Help)】(内発的動機)により「目標」が定まります。【高い目標】です。目標は意欲となり、成長します。【能力伸長】です。自信がつき、自己肯定感が高まります。さらに目標に向かって邁進します。又は目標を立て直して邁進します。【目標→能力伸長→自信→自己肯定→目標】の循環相乗効果です。

Willなくして【Will】なし。【Will】が見つかるのは30年後かもしれない。とりあえず、Willと勉強を両立させよう。あれかこれかではなく、あれもこれも。Willと勉強の相乗効果です。そうする中で、Willに変化があるかもしれない。それは今までのWillを否定するものではありません。

【「幸福」とは地位でも財産でもなく「感覚」であり、「幸福感」である。幸福感が得られるか否かは【能力】で決まる。世界は能力の範囲でしか見ることができない。幸福もまた然り。幸福は能力の範囲でしか感じるできない。】これ、私がよく言う言葉です。そのための能力伸長です。幸福を感じるための、幸福感を得るための能力伸長です。その起点は【Willによる自己決定】です。

さあ、みんな。「不確実で複雑な時代」を「主体的な意志（Will）のある自立した（自己決定した）『個』」で生き抜こう。幸せになろう。幸福感を手に入れよう。【幸せの源泉は自己決定】です。

.....
いつものように人の話を持論・自説に引き寄せましたが、いつも言っているように、私の言っていることは「ごくごく平凡な当然のこと」だから人の話と重なるということです。川島さんの話を私と一緒に聞いていたPTA会長も、「校長先生の言っていることと同じですね。」と仰ってくださいました。